

NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第83号(201606)

発行 竹田幸男



寝屋川市映像協会伊丹昆陽池・荒牧バラ園撮影会 2016.5.17

映像協会撮影会 伊丹昆陽池・荒牧バラ園撮影会

5月17日、映像協会の本年度第1回の撮影会に参加しました。鳥たちが集うと言われる昆陽池、じっくりと撮影したい希望者は別行動で早目に会場に入りましたが、何と被写体の1つ、昆虫館は火曜日が休館で撮影できず、予定を変更して昆陽池の撮影を終えるとバスで荒牧バラ園へ移動、ここでは色とりどりのバラが見頃、鳥とバラ、1日楽しく撮影に打ち込みました。

例会の窓

平成28年5月例会

日時：5月11日（水）13：30

場所：市民活動センター4F こども部屋

出席者：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 谷
吉岡地区委員

欠席者：2名（50音順・敬称略）

例会次第

1. 報告・連絡事項

(1) 会報 佐伯さん

2. 協議事項

(1) 第4回文化連盟展の件

- ・平成28年7月31日（日）アルカスホール・メインおよび1階スタジオで。
- ・作品の依頼・旧作を集める。1作800円で人によっては3～4作あり得る。

(2) 市民活動センターふれあいフェスタ（7月9日）への参加計画

- ・10：00～14：30 佐伯さん 妹尾さん参加
- ・新井さんも先生となり映像の何でも相談・編集方法など教えてもらう。

(3) 第1回 撮影会の詳細と参加者（新井さんより詳細説明）

- ・平成28年5月17日（火曜日）雨天の場合は18日（水）
- ・撮影場所 伊丹昆陽池
- ・関連して、秋の撮影会に対する希望を求める。

(4) 本年のアマチュア映像祭作品・出品希望は選出のため合同例会と決まる。

- ・7月24日（日）合同例会・会場は総合センター4F視聴覚室

(5) 今年の市民文化祭出品作品を用意したい。9月例会で締め切る。

(6) 9月には講習会をやりたい。内容の希望は。

3. 映写・研究発表

- ・会員持参作品の映写

(1) 新井さん「昆陽池：昆虫館」（撮影会の下見で参考になれば）14分

(2) 妹尾さん「吉野山・大名行列」 10分16秒

- ・1000年の歴史をもつという吉野山・大名行列を紹介したい。
- ・幼児期に、わからず口にした童謡「鞠と殿様」の「金紋・先箱・供ぞろい・御駕籠のそばには、ひげ奴・毛槍をふりふり・・・」を思い出してほしい、との思いから制作された。
- ・春のレクリエーションで、たまたま大名行列に出会って撮影された。
- ・ナレーションをいれたらすばらしくなると思う。最後に終という文字がほしい。
- ・初めての作品でここまでされたのは素晴らしいです。再編集を期待します。

4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等

- ・佐伯さんがパソコン持参で参加、変なソフトウェアをダウンロードしてしまったため、しょっちゅうネットに接続を試み、そのため編集ソフトがうまく動かない。
- 5 . 来月の定例会 大阪アマチュア映像連盟の総会があり、会長が出席のため日程変更 第3水曜の6 / 15 13 : 30 ~ 市民会館 4F こども部屋



大阪のおばさんの日記

佐伯節子

昨日だらだら過ごした罪滅ぼしに、今日は出かけることにした。

枚方の京街道で毎月第2日曜日に「五六市」が開かれている。そこに知り合いが店を出しているの冷やかしに行くことにする。

運動不足解消のために、いつもなら自転車で出るところを駅まで30分歩く。足が重い。商店街の自販機で格安チケット買おうと思ったら1万円札しかない。仕方ないからお金を崩すために鶏のから揚げ購入。夕食用にしよう。格安チケットは枚方までの往復420円が360円(休日用)。お勧めです。

枚方駅から枚方公園駅に向けて京街道沿いを歩く。岡本町公園からバンド演奏が聞こえてきた。『枚方宿ジャズストリート ビッグバンドフェスティバル』と銘打ってたくさんのグループが演奏に参加している。後方すぐ上を走る京阪電車の通過音をバックにしながら。

あちらこちらにテントを張ったたくさんのお店あり。手作りのアクセサリとかの店を覗いていたら、知らないおばあちゃんに声をかけられた。「このラムネ菓子すごく美味しいよ！」と袋を開けて見せてくれる。店の人じゃないんだ。

「あー知ってる知ってる。これ美味しいよね。そやけど仰山買うたね～」という「体操の仲間にあげるねん」それからごそごと袋を開けて「ほらあげるわ。食べてみ」と二つもくれた。ありがたく頂戴して、次にハーブティーの店を冷やかす。綺麗なピンク色のティーだったので見ていたら店の若いお姉さまに「どうぞ」と言われたのでこれもありがたく試飲。食用のハイビスカスなんだって。でもラムネが口に入ったままなので味がわからん。ごめんね。買う気もないのに「これは何？」と尋ねる。ついでにハーブティーの作り方まで聞く。

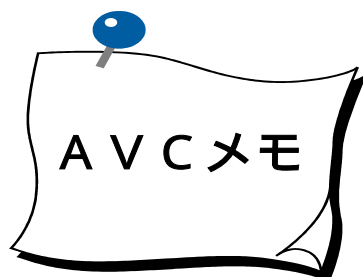
一応ビデオを持って行ったので五六市の賑わいなどを撮ってみた。飴細工の店で、完成を待つ子供の表情がとても良かったので結構長く撮ってみた。作品になるかどうかはわからないけど。しかし買いたいものがあったらビデオは後回し。

『産地直送無農薬のトマト1Kg500円』の行列についつい並んで買ったが、このトマトはしっかりした味でとても美味。並んだ甲斐があった。この行列でも後ろ

のおばちゃんたちと料理についてなどおしゃべり。退屈はしません。

知人は「交野竹炭同好会」で竹炭にエナメル塗料で花の絵とかを描いている。私も数年前に彼女に誘われて同好会に入り、月2回だがおしゃべりとおやつが楽しい。もちろん行ったら一生懸命描きますよ。おばさんは真面目なんだから。自分の描いたものを買ってくれると嬉しい。

あ、雨がぽつぽつ。娘に頼まれた豆腐ドーナツを買って帰りましょう。おからもついでに。



映像画面の縦横比・4対3から16対9へ(1)

竹田幸男

テレビ放送が、従来の標準画質からハイビジョンに移行してから、それまでの4対3(よんたいさん)の画面の縦横比(この場合横が4に対して縦が3の比率になるので、正しくは「横縦比」と言うべきかも知れませんが)が、一気に16対9(じゅうろくたいきゅう)の画面に移り変わりました。もっとも、両者の中間に標準画質ながら縦横比だけ16対9の、「ワイド画面」という物がはやった時代はありましたが。

16対9とは、画面の横の寸法を16とすれば、縦の寸法が9という割合の横長の画面です。

比較をするために横の寸法を縦の寸法で割った値同士を比較してみましょう。4対3の場合は1.33となり、16対9画面の場合は1.78となります。

写真はどうでしょうか。ライカ版のフィルムの1駒は24×36ミリで、この比は1.5となります。L版のプリンタ用紙は89×127ミリで1.43、四つ切りの印画紙は25.4×30.5センチで1.20となります。正方形に近い方から順に並べてみましょう。正方形は1.00ですから、1.20の四つ切り印画紙は最も正方形に近く、ついで従来の標準テレビの1.33、A4版の用紙は1.41、L版のプリンタ用紙1.43、ライカ版フィルムの1.5、ハイビジョン画面は1.78で、この中では最も横長になります(いずれも小数点以下3桁を四捨五入)。

従来の標準テレビは、なぜ4対3になったのでしょうか。昔、ブラウン管(CRT・カソード・レイ・チューブ)は円形でした。角形にする技術がなかったのです。昔のテレビを見ると四隅に丸い部分が残っています。丸いブラウン管の面を出来るだけ一杯使って四辺形の絵を出そうとすると、正方形が一番広い面積が取れるのですが、それでは風景を映すには適当でない、ということで4対3になったのではないかと私は想像しています。

とにかく、長い間4対3という画角に私達は慣れ親しんでいました。その画角の中でカメラマンは映像を築いてきました。時に息苦しさを感しながらも、横長の被写体はパンしたりカットつなぎで表現してきました。16対9の横長画面は束縛を

一気に取り払ったように見えますが、問題も提起します。

映画や演出されたテレビの画面は監督やディレクターの綿密な画面構成の元に撮影され、不要な被写体は撮影前に排除されます。われわれアマチュアは多くの場合、瞬間瞬間、一人の判断で画面を切り取りながら撮影、構成していかなければなりません。画面構成は4対3に比べ16対9では、頭を切り換えて撮影しなければなりません。たとえば、1人の人がこちらを向いて話している、と言う場面、話をする人を画面のどこに入れますか。4対3なら真ん中に近いところであっても、余り違和感がありません。ところが16対9の画面で真ん中というのは芸の無い話、どちらかに少し寄せて、広い空間が出来てバランスの崩れた空間には何か人以外の被写体、花でも、ドアでも入れて構図的にバランスを取る、という工夫が必要です。

ハイビジョンの高画質と抱き合わせで16対9という縦横比を与えられた事を、私たちは克服していかなければなりません。(この項続く)



お願いこの会報をお読み頂いている方も多いと思います。今は読んで頂くだけの一方通行ですが、ご意見、ご感想などお寄せ頂ければ有難く思います。メールアドレスm-pic@outlook.jp(竹田)まで、ご連絡をお待ちしています。

寝屋川映像同好会 会員募集

当会では会員を募集しています。松愛会会員とそのご家族であれば、所属支部に関係なく入会して頂けます。

【活動内容】

■例会：日時：毎月第2水曜日 13:30～16:30

会場：寝屋川市民会館4階・市民活動センター

(寝屋川市秦町41-1 無料駐車場あり)

活動内容：各人の作品の映写と検討、映像制作上の質疑応答、活動の打ち合わせ等

撮影会：年2回程度

公開作品発表の機会：毎年11月・寝屋川市民文化祭・映像作品発表会

毎年10月頃 大阪アマチュア映像祭

2年に1回 映像同好会ビデオ作品発表会

2年に1回 寝屋川映像フェスティバル

懇親会：1月の例会前 新年食事会

12月 忘年会

その他随時研究会や講習会・レクリエーションなど開催

会費：入会金 3,000円 年会費3,000円

連絡先:メールアドレスm-pic@outlook.jp(竹田)